

## 第 5 回箕面ロマン創出懇話会会議概要

(平成 22 年 5 月 27 日実施分)

第 5 回箕面ロマン創出懇話会の振り返り（事務局の箕面営業課から説明）

詳細は、別紙第 4 回会議概要を参照

議題 1 箕面駅周辺整備事業の進捗状況の報告について

整備の内容について

- ・市整備エリアについて  
株式会社ウエスコより説明
- ・府整備エリアについて  
府池田土木事務所より説明

< 主な意見及び答弁等 >

- ・ガレリアのところで、どうして商店街へ行きたいと思うのか、わからない。  
駅から、本通り商店街まで、雨に濡れずに通行してもらうように、また滝からおりてきた観光客を商店街の方へ誘導できるよう、設置した。
- ・駅前広場の東側の端にある植木は、残したら、信号が隠されて危険ではないか。  
この交差点の信号は、今はウェルカムゲートから北に行き、そこから西に行く L 字横断になっているが、直接横断できる交差点形状にできるか、箕面警察と協議中である。
- ・駅前広場北側の交番横付近は、既設の照明もあり、十分明るいのでガス燈風街路灯は不要ではないか。  
既存の照明は撤去するため、ガス燈風街路灯の設置は必要である。
- ・ステージの隣に観光案内所をもってくるのか。  
ステージの横にあるのは、公共バスの待合い等公共交通に関連した交通案内所で、このスペースを利用して観光案内業務ができないか検討中である。
- ・ロータリーの中央部は、行くのに車が通って危ない。  
ロータリーの中央部まで、渡りやすくすることは、安全上できない。
- ・イベント広場になるところにある、樹木とベンチはどうするのか。  
見通しも悪くなるし、イベント時に邪魔になるので、今の場所には置いておけない。  
イベントにより、賑わいをつくるための場所である。イベントステージが階段状になっており、そこにベンチが移ったと考えてもらいたい。樹木はクスノキだが、クスノキはかなり大きくても、移植することはできる。ただ、成長が早く、枝落ちするので、街路樹には向かないので、検討が必要である。  
イベント広場と交通案内所の間に、代替の樹木を新植できないか検討する。

- ・資料のウェルカムゲートの部分に「本通り」とあるが、これは確定か。  
本通り以外の商店街もある。  
確定ではない。新たなネーミングを付けるかも含め、商店街のかたと協議して決める。
- ・ガレリアのところで、人を誘導できるのか疑問である。  
ガレリアのところには、資料にはないが、取り外し可能なインフォメーションパネルを設置する予定である。上の屋根と下の舗装が、一つの空間として意識できるようにしている。一つの部屋という雰囲気になると思う。
- ・ウェルカムゲートの向かいにある、信号の周りには、信号の線や電柱、照明灯などがあり、見た目がよくないので、解決してほしい。  
電柱については、改善できるか関係者と協議中である。
- ・トイレの内装はシンプルにしてほしい。  
床も壁もタイルになると思うが、シックにしたい。

#### 電線類地中化及び滝道の舗装について

市道路プロジェクト推進担当・府池田土木事務所が説明

- ・工事時期はいつ頃か。  
市の区間は、8月上旬から着手する予定である。市も府の区間も、今年度中に完了する予定である。
- ・紅葉の時期は、工事を中止してもらえるか。  
スケジュールが厳しい。実施設計が終わった段階で、関係者に説明する。
- ・地中化と一束化の区分けは、どうやって決めたか。  
地中化は橋本亭から南としており、後は費用によって決める。地中化する場合は、1 m程度の配電盤が必要になる。費用の面から、すべて地中化することは難しいし、一束化区間の150 mには配電盤を置く余地がない。
- ・滝道をライトアップして、夜の観光客をどう呼び込もうとしているのか。  
滝道は今でも明るいので、フットライトまでは必要ないと思う。  
ライトアップは、滝道を魅力的にし、活性化していくための手段としたい。フットライトは10 m間隔で、すごく明るくなることはない。これは、石畳と淡い街灯事業として行うもので、淡い街灯の風情のある道に変えていく必要がある。

川床の社会実験について（市商工観光課より結果概要を説明）

- ・河川法の規制緩和等により、ゴールデンウィーク期間中の4月29日（木・祝）から5月16日（日）の間、滝道の4地点5店舗で川床の社会実験を実施した。
- ・利用者数は、延べ約5,400名（平均340名）あり、阪急箕面駅の乗降客数は対前年比11.4%増加（多い日で乗降客40%増加）した。
- ・利用者アンケートにおいても、概ね好評で、事業者側も成功の印象をもっている。
- ・川床協議会において今後のあり方等について議論が行われ、課題はあるが、夕方から夜にかけて7月下旬から8月末までの間、延長することになった。

以上